



■ 第18回 クリスマスライブ

アマチュアミュージシャンによるライブを開催！
クリスマスにちなんだ曲も披露していただきます♪
日時 12月20日(日) 13:30開演 (開場13:00)
場所 コスモホール(情報文化センター)
入場料 無料
問い合わせは 情報文化センター(☎44-5000)へ

■ 第13回 夢ホールコンサート

ピアノやヴァイオリン、クラリネットや声楽。
いろいろな音色、アンサンブルをお楽しみください。

日時 12月12日(土)、13日(日) いずれも14:00開演
(13:30開場)

場所 夢ホール(文化会館)
入場料 500円(2日とも入場できます)
※高校生以下の方は無料
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※無料託児あり(1週間前までに要申込)
チケット販売場所 文化会館、市民会館、情報文化センターほか
問い合わせは 文化会館(☎21-0808)へ

■ 「阿南市の文化財 第2集」 「探訪ふるさと阿南」～絶賛発売中～

●「阿南市の文化財 第2集」
平成11年度発刊、「阿南市の文化財」の続編
価格 1冊1,000円
●「探訪ふるさと阿南」
広報あなんに掲載されている「ふるさと探訪」の連載100回記念誌
著者 湯浅良幸
価格 1冊500円

販売場所 文化振興課(文化会館内)
問い合わせは 文化会館(☎21-0808)へ

■ 秋川雅史コンサート チケット発売

♪聴いてよく分かるクラシック♪
楽しくて、ちょっと勉強になる
《誰かに自慢したくなる》コンサート!

小さな子どもからお年寄りまで、誰もが納得する音楽の仕組みを紹介します!

日時 平成28年2月28日(日) 15:00開演
(14:30開場)

場所 夢ホール(文化会館)
入場料 3,500円【全席指定】
※当日券は500円増し
※3歳未満の方の入場はご遠慮ください。
チケット発売開始日 12月5日(土) 8:30~
※電話受付は10:00~
チケット販売場所 文化会館(夢ホール)、アピカ、フジグラン阿南、平惣(阿南センター店・羽ノ浦国道店・小松島バイパス店・徳島店)、小松島市ミリカホール
問い合わせは 文化会館(☎21-0808)へ

阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会
会長 湯浅良幸

江戸時代の貨幣制度(上) 八貫の渡し

九月十六日、阿南市文化財保護審議会が毎年実施している文化財巡視調査を大野・中野島地区で実施した。下大野町八貫の渡し跡へも行った。江戸時代、この地に那賀川を運行する船から税を徴収する役所があった。江戸時代末期、その業務を一か年銭八貫文で下大野の住民に受け負わせた。それから、ここに八貫の地名が付いた。

銭八貫文は一文銭で八千枚。金貨に直すとわずかに二両である。この地から銅鐸が出土しているが、羽ノ浦町明見地区、渡し船について



秤量貨幣
金貨は大判・小判・二分金・一分金・二朱金・一朱金があり全て定額制である。しかし、銀貨は「なまこ

は稿を改めた。
この時、参加者に領収書に「一金」「二銭」と書く習慣を話したが、「一銀」「二銭」「藩札一匁」とは大きな差異がある。

四進法と十進法

現在、貨幣を数えるのに一円、十円、百円、千円のように一桁ごとに加えていく。
しかし、江戸時代、金貨は四進法だった。金四朱(一朱金四枚で一分)、金一両は四分。即ち金十六朱である。金一両以上は十進法である。金百両、金千両のように。

種々雑多な貨幣

江戸時代の貨幣は、幕府の発行する金・銀・銭の三本建てであった。他に各藩が独自に発行する藩札があり、旗本・寺社・商人等が発行する紙幣(硬貨、木札)もあった。これら三貨の比率は慶長十三(一六〇八)年、金一兩〓銀五十匁〓銭四貫文と決められた。しかし、銀の下落によって元禄十二(二六六〇)年には金一兩〓銀六十匁〓銭四貫文と改められた。この比率は明治維新まで維持された。

銀(一丁銀、原則として六十匁)、豆板銀のように秤量貨幣である。つまり、秤にかけて計量する。だから、適当な重さに切断して使用された。
もともと銀貨でも明和以降、五匁銀・二分銀・一分銀・一朱銀などの定額貨幣が発行され、秤量制と併用された。

鉄銭の出現

銀貨も寛永通宝(一文銭)が江戸期を通して発行された。しかし、量目・形状・材質もしばしば変更された。例えば、元文四(一七三九)年から鉄製の一文銭、明和五(一七三九)年から四文銭、また天保六(一八三五)年には天保通宝(百文銭)、万延元(一八六〇)年から鉄製の四文銭、文久二(一八六三)年には粗悪な文久永宝四文銭が発行された。幕末には銅銭一文が鉄銭十六文に相当した。



天保通宝

(続く)

科学センター



ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>

おもしろ科学実験(無料)

土、日曜の午前11時~、午後2時20分~の2回実施。テーマはお問い合わせください。なお、学校の冬休み期間は平日の午後2時20分から実施します。

ふたご座流星群観望会(有料)

毎年安定して流れ星を見ることができ「ふたご座流星群」の観望会を次のおり実施します。当日は並行して大型望遠鏡での観望も行います。
日時 12月14日(月) 午後7時~9時
※悪天候の場合は中止します。
参加方法 当日、開始時間までに科学センターにお越しください。
参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円、幼児無料

わくわく科学の広場

「松ぼっくりでクリスマスツリーを作る」(無料)
松ぼっくりを使って小さなクリスマスツリーを作ります。子ども向け。
日時 12月23日(祝) 午前10時30分~、午後1時30分~
参加方法 当日、開始時間までに科学センターにお越しください。予約は不要です。

新春親子たこ作り教室(無料)

親子でたこを作り、完成後、実際に飛ばして遊べます
日時 1月10日(日) 午前10時~、午後1時30分~の2回
参加方法 当日、開始時間までに科学センターの科学工作室にお越しください。
定員 各回親子10組(先着順)

デジタルプラネタリウム(無料)

土、日曜、祝日、冬休み中の午後1時30分~、3時~(放映時間約30分)

問い合わせは 科学センター
(☎42-1600)へ
12月の休館日
7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)
31日(木)